予算決算

歳入歳出決算認定

◎総務部所管

問 地域おこし協力隊募集の取組は。

答 募集要項を作成し、ホームページに掲載して広く募集を開始した。コロナ禍で東京での募集は難しいが、オンラインで積極的に周知したい。

問 広報活動のインスタグラムの活用は。

答 4月から開設し、直近のフォロワー数は約千まで増えた。今後も各種取組を行いながら発信していきたい。

意見 今、子どもを連れて出かけられる場所が少ない。密にならない、安全な公園情報をインスタグラムに掲載し、子育て世代にPRしては。

問 町勢要覧で本町の魅力が伝えられているのか。町の魅力を発信する手段、PRするための取組は。

答 町勢要覧は職員が出張する際、町のPR材料として使用することを考えていた。情報が集まる場所にパンフレットを設置しPRしていきたい。

意見 パンフレットがあれば、それを手に取り、行ってみようというきっかけになる。また、そういうPRが移住希望者に渡ると行ってみよう、住んでみようという気になるのではないか。町のPR方法を検討してほしい。

問 おしゃれなまさき推進事業の提案件数は。

答 まちづくり課から1件。町道西古泉筒井線に連続照明を設置した。

意見 まちの活性化のため、各課からの事業提案を広げてほしい。

問 総務課として労働時間の管理は。

答 毎月発生した時間外勤務が総務課に上がってくる。時間外が45時間を超えそうな場合は所属長から連絡があり、超えた場合は所属長が面談を行い、体調や事務の進捗状況を確認している。

問 業務量に見合った適正な職員の配置は。

答 所属係の定数は、年々業務が増えており、年1回の組織のヒアリング、年明けに人事ヒアリングを行い適正な人員配置に努めている。

問 備品購入費の支出済額と事業費決算額が合わないが、適切か。

答 消耗品費で避難所の消毒液、マスクなどを購入しており備品購入費と消耗品費を合算した額となっている。

意見 本町は比較的災害の少ないところであるが、全国各地で突発的な災害が発生している。今後も計画的に整備・更新をしてほしい。

問 庁舎感染症対策での窓口のパーテーションを水道管とビニールで作り設置しているが改善はできないのか。

答 国費を使いどの事業を実施するか検討する中でパーテーションは現状のままとなった。国費の追加が見込めるようであれば検討したい。

意見 パーテーションだけでなく、コロナ対策はスピード感を持って対応してほしい。

問 不納欠損額の処理は。

答 滞納要因により不納欠損の内容を5つに整理している。各ケースを逐次調査し、最終的に不納欠損処理を行っている。

◎出納局所管

問 随意契約の落札で、突出して多い業者があるが適切か。

答 見積競争を行い、その結果落札している。公正な競争の結果である。

問 随意契約で1社見積りがあるのはなぜか。

答 予定価格が10万円未満のものについては1社でできる。

問 入札不調で元課で随意契約というのがあるが、随意契約一覧表に記載がない。載せるべきではないのか。

答 入札後に随意契約した案件については元課で処理をしているため一覧表には載せていなかった。しかし関連性があるので、来年度からは入札不調後の随意契約について載せるようにする。